

書くことは、 全ての学びの 基本だ。



50分間で自分の字が変わる。

その達成感が、自信につながる。

中学で「行書」の書き方を知る。

驚くほど字が速く書けるようになる。

姿勢や筆記具の持ち方を意識する。

長時間書いても疲れにくくなる。

文字を正しく書くこと。

コミュニケーションを取ることで。

文字の歴史や伝統文化に触れること。

書くことの全てが書写にある。

「書く力」を、

ぐんぐんと伸ばす教科書。

1

学びやすい、
教えやすい



主体的に学んでほしい…
指導のポイントを教えてほしい…

見通しをもって主体的に学べるよう、全ての学習ページに「学習の進め方」を丁寧に示しました。また、学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設けました。

P6・7 ページへ

2

「書く力」が
確かに身につく



短時間で書く力をつけさせたい…
毛筆学習を硬筆にどう生かせば…

「書く力」の定着には、毛筆で学習したことを、硬筆で繰り返し練習することが欠かせません。そこで、28 ページの硬筆練習帳「書写ブック」を新設しました。

P8・9 ページへ

3

学びが、
生活に直結する



新学習指導要領で、
社会との結び付きが重視されている

書写で身につけた力を、各教科の学習場面や学校生活・社会生活に生かすヒントを満載しています。同時に、文字文化の豊かさに触れる多様な教材を位置づけました。

P10・11 ページへ